## WFC Hiroshima を つ・た・え・る 基礎講座

平和公園の一角にひとつの碑があります。

ワールド・フレンドシップ・センターの創立者、バーバラ・レイノルズさんの碑です。 その碑に刻まれた『私もまた被爆者です』という言葉。

バーバラさんの生き方そのものです。

1958年、南太平洋の水爆実験水域に、ヨットで入り核実験に抗議しました。 全てをなげうち、被爆者とともに二度の世界平和巡礼を行い、 被爆の実相、ヒロシマの願いを伝えました。

1965年には、広島の市民とともにワールド・フレンドシップ・センダーを設立し、 被爆者に寄り添い、被爆者支援につとめ、 広島を訪れる人に、被爆者と出会う場を提供しました。 一人の人が一人の人に出会う。

その出会いを通して生まれた、平和の思いは、

今も世界のどこかで生き続けています。

バーバラさんの思いは今もワールド・フレンドシップ・センターに関わるものに引き継がれています。

しかし、核の脅威は世界から消えず、 憎しみの連鎖が人々の心を支配しつつあります。 被爆の体験を語ることのできる被爆者も少なくなりつつある今、 バーバラさんの平和への思いに触れ、 「もう二度と同じ思いを誰にもして欲しくない」という被爆者の声を聴き、 自分の置かれた場で、Hiroshima が体験したことを 自分の言葉で伝え、平和の道を歩むために ご一緒に学びませんか。



## WFC Hiroshima を つ・た・え・る 基礎講座(第2期) 募集要項

日 時:2018年9月~2019年8月 第4土曜日(12月は変則的)午前10:00~12:00

場 所:ワールド・フレンドシップ・センター、広島市内(フィールドワーク)

対 象 者 : 年齢は問いません。一年を通して参加できる方。定員20人(定員

になり次第、締め切ります)。

使用言語: 日本語。講師が英語で話される場合は、通訳あり。

参加費:無料。但し、資料代が必要な場合は実費をいただきます。

募集開始時期: 6月15日(これ以前の申し込みは受け付けられません)。

申し込み方法: メール、電話、FAX

## 日程・テーマ:

- 第 1回 9月22日(土) 在外被爆者をめぐる諸問題 (豊永恵三郎さん「韓国の原爆被害者を救援する市民の会」世話人)
- 第 2 回 10月27日(土) ヒロシマを世界に伝える (小倉桂子さん HIP, Hiroshima Interpreters for Peace 平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表)
- 第 3 回 11月24日(土) 軍都廣島の中心を歩くフィールドワーク (多賀俊介さん 廣島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会)
- 第 4回 12月8日(土)川内村の記録「そして妻たちが残った」(渡辺茂美さん ジャーナリスト)
- 第 5 回 1月26日(土) 「ヒロシマの家」 フロイド・シュモーと仲間たちー(西村宏子さん シュモー に学ぶ会代表)
- 第 6 回 2月23日(土) 町と暮らしの記憶 中島本町と材木町を中心に(中川幹朗さん ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会代表)
- 第7回 3月23日(土) ヒロシマを語り継ぐ(梶矢文昭さん ヒロシマを語り継ぐ教師の会事務局長)
- 第 8 回 4月27日(土) RERF 放射線影響研究所見学
- 第 9 回 5月25日(土) 被爆地ヒロシマの役割(秋葉忠利さん 元広島市長)
- 第10回 6月22日(土) 世界平和巡礼とバーバラさん(阿部静子さん 被爆者)
- 第11回 7月27日(土) 被爆証言を聞く
- 第12回 8月24日(土) まとめ
- \* 内容および日程は変更になることがあります。
- ・講座参加者は、8月のWFCの関連行事、WFCと他の平和グループとの学習交流会、その他WFCの日常の平和活動に参加していただけます。
- ・講座参加者は基礎講座を通じて得たことを、Hiroshimaを伝えるために活かしてください。

## 問合せ・申込先:

NPO法人 ワールド・フレンドシップ・センター

WFC つ・た・え・る プロジェクト係

〒733-0032 広島市西区東観音町8-10

Email: wfchiroshima@nifty.com

Website: http://wfchiroshima.com

Phone: 082-503-3191 FAX: 082-503-3179



